

平成30年度国立研究開発法人森林研究・整備機構入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成31年3月5日（火）森林総合研究所特別会議室	
委員	鬼沢浩志（一般財団法人建築保全センター参事）、中川文雄（元会計検査院第2局監理課長）、二井矢句子（弁護士）	
審議対象期間	平成30年1月1日～平成30年12月31日	
対象案件	総件数：16件（抽出案件：9件）	抽出案件（業種：抽出の視点）
	工 事	測量・建設コンサルタント
一般競争入札	10（5）	5（3）
不落随意契約	1（1）	0（0）
(議事) (1) 委員長選出 (2) 昨年度のとりまとめに対する報告 (3) 抽出案件に係る説明、審議 (4) まとめ		発注工事一覧表及び発注業務一覧表の中から、以下の工事及び業務を抽出。 ・九州支所共同特殊実験棟他解体工事（建築一式工事：低入札価格） ・北海道支所直流電源装置改修工事（電気工事：低落札率） ・林木育種センター事務所棟外壁塗装工事（建築一式工事：低落札率、最多応札者） ・研究所B－5棟改修工事（建築工事：低落札率） ・温室改修及び苗テラス整備工事（建築一式工事：設計業務、監理業務との関連） ・研究所A－1北棟土壌資源研究室他改修工事（管工事：不落随契） ・温室改修及び苗テラス整備工事設計業務（建築士事務所：低落札率） ・研究所A－12棟耐震診断業務（建築士事務所：低落札率、最多応札者） ・温室改修及び苗テラス整備工事監理業務（建築事務所：設計業務との関連）
議 事	委員からの主な意見・質問	森林研究・整備機構の回答
(1)委員長選出	(委員の互選により鬼沢委員を委員長に選出)	
(2)昨年度のとりまとめに対する報告	【同種工事の場合の業種区分の選定にあたっては、整合性を持たせること。】	・業種区分については、工事内容を精査して決定することとしている。 なお、ご指摘の事例は、建物の解体撤去工事において、つくばでは「建築一式」としていたが東北支所では「とび土工」としていたものです。研究所、支所等において情報を共有して整合性について注意していくこととしている。
	【不落随契の際の経緯に関して、確実に記録を留めること。】	・不落随契を行う場合の文書決裁（決裁文書）において、随意契約となった経緯や業者の選定理由等（最低価格で入札を行った等）についての概要を記載することとしている。
	【再公告の掲示について、当初公告と同じ条件とすること。】	・再公告の掲示について、当初公告と同じ条件としている。
	【入札価格と予定価格との乖離がある場合は低入札価格の対象外でも確認をすること。】	・契約取扱規程第17条において、予定価格が1,000万円を超える工事又は製造その他の請負契約は、調査基準価格を設定して調査確認を行っているが、調査対象外であっても入札価格と予定価格に特に大きな乖離がある場合は、入札を一時中断して入札内訳書等を確認することとしている。 また、履行状況については監督・検査において確認している。

(3) 抽出案件の 審議	【九州支所共同特殊実験棟他解体工事】 ・低入札価格調査の「経営状況」について、記載内容等の必要性を検討する必要がある。	・規程等を確認の上、検討する。
	【北海道支所直流電源装置改修工事】 ・納入品が同等品であることの確認記録を留める必要がある。	・同等品であることを確認したことを記載するようにする。
	【林木育種センター事務所棟外壁塗装工事】 ・競争参加資格の主任技術者の要件で、監理技術者の資格を求めているが整理が必要である。	・監理技術者の必要性について、検討する。
	【研究所B－5棟改修工事】 ・特になし。	
	【温室改修及び苗テラス整備工事】 【温室改修及び苗テラス整備工事設計業務】 【温室改修及び苗テラス整備工事監理業務】 ・設計業務と監理業務は、別の者が望ましい。	・設計業務担当者と監理業務担当者が別であれば問題ないとしている。
	【研究所A－1北棟土壌資源研究室他改修工事】 ・特になし	
	【研究所A－12棟耐震診断業務】 ・郵便による入札も行われているが、入札公告にその旨が記載されていない。	・郵便での入札も可能であることを連絡事項において記載している。

(4) まとめ	・特に問題となる点はない。 ・次の４点についてお願いしたい。 (1) 競争参加資格の要件で監理技術者の必要性を整理すること。 (2) 納入品が同等品であることの記録を留める必要がある。 (3) 低入札価格調査の「経営状況」等について確認方法を検討すること。 (4) 入札公告に郵便による入札も可能である旨を記載する必要がある。	・検討する。 ・了解した。 ・検討する。 ・了解した。
---------	--	--